

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成19年3月

(平成19年2月末調査)

平成19年3月15日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

**諏訪信用金庫
経営相談室**

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567(代)

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率 【1月】	諏訪公共職業安定所管内	1.30 倍	0.03 ポイント
	岡谷公共職業安定所管内	1.83 倍	0.32 ポイント
手形交換高【2月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	11,785 枚	3.79 %
	金 額	13,627 百万円	3.57 %
うち不渡り発生状況	枚 数	20 枚	10 枚
	金 額	18,810 千円	16,573 千円
車庫証明取扱件数【2月】 (諏訪・岡谷家用自動車協会管内)		1,202 件	10.9 %
新設住宅着工件数(18年4月~19年1月) (諏訪地方事務所管内)		1,708 戸	111 戸

地域の概況

製造業

自動車関連部品の下請企業の受注は横這い状況で高水準の生産を続けている企業がみられる。デジタル一眼レフカメラ関連企業の受注は引続き順調で、搬送機械、産業機械などの受注も安定している。電気器具は年度末を迎え、一部に生産調整からピーク時より受注が減少しているところがみられ、金属製品加工は昨年秋に比べ受注は幾分減少している。音響機器部品は、金型など受注回復が幾分遅れているところもみられる。

製造業全体としては、材料費アップなどのコストの吸収に課題を抱えているが、弱含みながらも生産状況は引き続き堅調となっている。こうしたなか、地域のミニラボ装置のトップメーカーが9月末での工場閉鎖を発表した。

商業

諏訪地方の2月の天候は、寒気の南下が一時的で平均気温が統計開始以来3番目の高さとなるなど記録的な暖かさとなった。

食料品は、バレンタインデーのチョコレートや節分の恵方巻きなどのイベント関連商品は好調な売れ行きをみせたが、生鮮3品等はチラシによる選別購買から売上高ベースでは微増に留まったところが多い模様である。

衣料品は、暖冬の影響から冬物衣料品の売れ行きは低調だった。就職・新入学・卒業のシーズンを前にスーツなどの関連衣料に動きが出ている。

大型家電店は、薄型テレビは引続き好調であり高性能な白物家電にも動きが出ている。

ホームセンターは、生活関連商品の動きは堅調であり、暖冬の影響から冬物商品の動きは鈍かったが、園芸や新生活関連商品の動きは早まってきている。

観光

スキー客の減少傾向は続いたものの、2月は中旬に3連休があったことから宿泊客が増加したところがみられた。高原の観光施設の中には、スキー客に代わってスノートレッキングやヘルスツーリズムなどの新しい取り組みにより利用者が増加しているところもみられた。

宿泊客は、施設により増減区々となっているが全体では幾分前年を上回った模様。

上諏訪のホテル・旅館は、宿泊客が増加し天候不順に苦しんだ前年同期比では2桁増のところがみられた。

蓼科・白樺湖・車山方面は、スキー客は減少したものの3連休の宿泊客が増加するなど前年並みのところがみられた。

下諏訪温泉は、2月は例年低調な時期となっており宿泊客は前年並みとなっている。

諏訪大社(上社・下社)の参拝者数は、地区内のホテル・旅館へ宿泊する団体客や天候に恵まれ小グループの参拝が増えたことにより48,501人と前年より大幅に増加している。

建設業

市町村の2月の発注工事は71件390百万円で、平成18年4月～平成19年2月累計額は前年比9件35百万円増加した。県の2月の発注工事は31件452百万円で、平成18年4月～平成19年2月累計額は前年比4,718百万円増加している。

また、県・市町村合わせた2月の公共工事の地元企業受注額は842百万円で、平成18年4月～平成19年2月累計額は前年比4,753百万円増加した。

民間工事は1月の新設住宅着工件数は71戸で、前年同期比26戸減少した。平成18年4月から平成19年1月の累計着工件数は1,708戸で前年同期の累計着工件数に比べ111戸減少した。

建築工事は、工場の新設や増築案件に動きが出始めている。土木工事は、昨年末から災害復旧工事の発注が行われており、現場作業員の確保ができずに県発注工事に応札のない工事がみられるなど、作業員確保に苦慮する企業がみられる。

雇用

1月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.30倍、岡谷公共職業安定所1.83倍で、諏訪地域の有効求人倍率は1.49倍と全国(1.06倍)及び長野県(1.25倍)を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた1月の新規求人(全数)は1,580人で前月より38人減少した。

地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降40ヶ月連続して1倍を上回っている。

当金庫から見た需資動向に大きな変化はみられない。

業種別動向

1. 電気機器

プリント基板	受注状況は企業により増加減少区々であるが、総体では幾分弱含みの状況となっている。
コンデンサー	自動車用コンデンサの受注は増加傾向であり、エアコン用コンデンサも好調に推移している。
プリンター	下請企業の受注状況は区々となっているが、大型プリンターの生産は堅調に推移している。
コンダクター・リレー	受注は幾分増加しており堅調な生産が続いている。

2. 輸送用機械

自動車	国内メーカーは安定した生産を続けており下請企業の受注は横這いながら安定しているが、引続きコストダウンの要請がきかれる。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーは順調な生産を続けており、下請企業の受注は安定している。国内では、スチール製ピストンリングの比率が高まっている。
船外機	下請企業の受注は旺盛であり高水準の生産を続けている。

3. 一般機械

工作機械	自動車関連部品の加工機械は引続き堅調であるが、国内向けの受注状況に幾分弱含みの感がきかれる。
専用機・省力機器	産業機械の需要は安定しており高水準の生産を続けている。
搬送用機械	デジタル家電企業や食品関連企業などからの受注は安定している。
金型	情報機器の受注は機種により増減区々となっているが、医療機器等の受注が堅調なところがみられる。
アルミダイキャスト	自動車部品の外注企業の受注に幾分弱含みのところがみられるが、総体では前月並みとなっている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの1月の生産台数は424万台で、前月比 23.8%、前年同月比 5.4%の増加となっている。1月の出荷台数は国内出荷 56万台、輸出 348万台で、出荷台数全体では前月比 31.9%、前年同月比 5.4%の増加となっている。レンズ交換式一眼レフタイプは、生産・出荷ともに前年同月比では70%以上の増加となっている。(カメラ映像機器工業会) 地域の下請企業の受注は堅調である。
プロジェクター	メーカー各社の海外生産比率の高まりを受け、地域企業の受注は減少している。
レンズ	ガラスレンズの生産は海外が主体となっており国内の生産規模は縮小しているが、幾分受注が増加した企業もみられる。

5. 織 維
ニ ッ ト

春物から夏物の生産時期を迎えているが、気温の変化が大きく短納期の春物ニットの納入に追われ繁忙のところもみられる。

6. 食 品
寒 天
味 噌

2月の生産は暖冬の影響により2割～3割の減産となったが、通期では平年並みか1割程度の減産になる模様。

出荷は平年並みとなっている。

7 製 材

諏訪地方の1月の木造住宅着工件数は57戸で前年同月比12戸減少した。建材（コンパネ、ベニヤ他）は、中国での需要盛り上がり等から前年比4割程度値上がりしているが動きは活発化している。

8. 建 設
公 共 工 事

2月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所24件、林道治山工事関係5件、土地改良工事関係2件の合計31件、契約金額452百万円となっている。平成18年4月～平成19年2月の累計は7,431百万円で前年同期比4,718百万円増加した。

市町村発注工事は、建築工事4件188百万円、土木工事・下水道工事など56件174百万円、その他工事11件27百万円で合計71件390百万円と前年同期比9件35百万円増加した。

土木工事は、昨年末から災害復旧工事の発注が行われており、現場作業員の確保ができずに県発注工事に応札のない工事がみられるなど、作業員確保に苦慮する企業がみられる。

民 間 工 事

諏訪地方の1月の新設住宅着工件数は71戸で、前年同月比26戸減少した。平成18年4月から平成19年1月の累計着工件数は1,708戸で前年同月累計比111戸減少した。

建築工事は、工場の新設や増築案件に動きが出始めている。

9. 商 業

諏訪地方の2月の天候は、寒気の南下が一時的で平均気温が統計開始以来3番目の高さとなるなど記録的な暖かさとなった。

バレンタインデーのチョコレートや節分の恵方巻きなどのイベント関連商品の売れ行きは好調であったが、冬物衣料は低調であった。年度末に向け小物や春物商品に動きが出始めている。

衣 料

暖冬の影響から冬物衣料は低調であったが、小物商品に動きがみられ、就職・新入学・卒業のシーズンを前にスーツなどの関連衣料にも動きが出ている。

食 料 品

天候に恵まれ客数を伸ばしているところが多いが、チラシによる選別購買から売上高ベースでは前年比微増に留まっている模様。

家電製品	薄型テレビは引続き堅調であり、高性能な白物家電にも動きがみられる。
自動車	諏訪・岡谷を合わせた2月の車庫証明件数(軽自動車除く)は、1,202台で前年同期比 10.9%となっている。また、軽自動車の2月の新車販売台数(諏訪地方合計)は531台となっている。 暖冬の影響からスタットレスタイヤ等の関連商品の売れ行きが低調であった。
ホームセンター	生活関連商品の動きは堅調であり、園芸や新生活関連商品の動きが早まってきている。
デパート	暖冬の影響により衣料品の動きは弱かったものの、バレンタインデーのチョコレートの販売は好調であった。

10. 観光

2月のスキー場の集客は、中旬に3連休があったことから前年並みを維持するも、シーズン全体を通しては12月の出足の遅れから幾分低調だった模様。ただし、スノートレッキングやヘルスツーリズムなどの新しい取り組みにより利用者が増加しているところもある。

宿泊客は、施設により増減区々となっているが、全体では幾分前年を上回った模様。

上諏訪温泉	宿泊客数は、特別企画などによる団体客や温暖な気候から個人客が増え、多くのホテル・旅館で前年を10%~20%上回っている。
蓼科・白樺湖・車山	宿泊客はホテル・旅館により増加減少区々となっているが、総体では2月中旬に3連休があったことから前年より増加した模様。また、各種の企画や取り組みにより大きく宿泊客を伸ばしているところもある。
下諏訪温泉	宿泊客は、ホテル・旅館により増加減少区々であるが、総体では前年並みとなっている。
諏訪大社	地区内のホテル・旅館へ宿泊する団体客や天候に恵まれ小グループの参拝が増えたことにより、上社・下社合わせての参拝客は48,501人と前年より大幅に増加している。

最近の長野県経済の動向

(2007年3月6日) 日本銀行松本支店

2007年1月の主要経済統計および企業ヒアリングを中心に取りまとめ。

- 長野県経済は、着実に回復している。 -

足もとの最終需要の動向をみると、輸出は、増加基調をたどっているほか、設備投資も、引き続き増加している。また、個人消費は、衣料品や乗用車販売が弱めの動きとなっているが、食料品や家電製品を中心に、総じてみれば底堅い動きが続いているほか、住宅投資は、持家・分譲を中心に、着工戸数が3か月連続で前年を上回った。公共投資は、前年を上回った。

以上のような最終需要のもとで、生産は、IT関連財および自動車向けが高水準の生産を継続しているほか、産業機械向けが緩やかに増加している。この間、企業活動の活発化を映じて、有効求人倍率が上昇したほか、常用雇用者数も前年比増加が続くなど、雇用・所得とも改善基調が続いている。

個別業界の動向

(生産)

半導体関連では、半導体素子は、自動車関連や産業機械向けなどを中心に、また、シリコンウエハは、デジタル家電向けの好調を映じて、それぞれ高水準の生産が続いている。この間、リードフレームは、代替品への移行から低調な生産となっている。

電子部品では、モーターは、ゲーム機や情報通信機器向けなどの需要増加から、また、コンデンサおよび抵抗器は、デジタル家電や自動車関連、情報通信機器向けなどの堅調を映じて、それぞれ高水準の生産を維持している。

情報機器では、デジタルカメラは、普及初期分の買い替え需要や輸出が引き続き増加している中で、新モデルの生産本格化から生産水準をさらに引き上げたほか、パソコンも、新モデル投入等から増加した。この間、プリンターは、複合機タイプを中心とした販売増加から、高水準の生産が続いている。**時計**では、完成品が、海外生産シフトの影響から、また、ムーブメントは、価格競争の激化を受けて、基調としては低調な生産を続けている。

自動車部品は、国内向けが小型車の販売台数減少を受けてやや鈍化しているものの、海外向けがモデルチェンジ車種や低燃費車の需要増から好調に推移しており、全体として高水準の生産が続いている。

工作機械は、国内の自動車向けが持ち直しているほか、海外の自動車向けや国内の情報関連機器、産業機械向けが堅調に推移していることから、高水準の生産を続けている。

計器は、ガスメーター向けが増加基調にあるほか、国内の産業機械向けもやや増加した一方で、国内外の自動車向けが減少傾向をたどっており、全体として底堅い生産が続いている。

バルブは、産業機械向けが好調を継続しているほか、住宅等の建築関連向けも増加していることから、高水準の生産が続いている。

味噌の出荷は、横ばい圏内で推移している。

飲料は、茶飲料、野菜飲料は暖冬の影響などから、引き続き好調な中、コーヒー飲料が新製品の投入などを映じて回復していることから、総じてみれば増加基調にある。

(個人消費)

県内大型小売店(百貨店、スーパー)売上高(当店調べ<店舗調整前>)をみると、衣料品は、暖冬によって、冬物商品が不調であったことから、4か月連続で前年を下回った。もっとも、身の回り品はアクセサリ類を中心に2か月連続で前年を上回ったほか、ウェイトの高い食料品も、一部店舗の改装・新規出店効果等から引き続き前年比増加しており、全体では10か月連続で前年を上回った。

家電販売は、パソコンがモデル更新時期から、また、暖房器具が暖冬の影響から、それぞれ減少したものの、デジタル家電や高品質の白物家電等が好調を継続していることから、全体では堅調な販売が続いている。

自動車販売をみると、2月の新車登録台数は、軽四輪および普通車が新型車投入効果等により引き続き前年を上回ったものの、小型車が減少を続けていることから、全体では前年を下回った。

(建設)

県内建設関連企業における民間工事新規受注額は、県外業者との競合が続いているものの、マンション建設や中・小規模の設備投資案件がみられるなど、底堅く推移している。

公共工事請負額は、国、県発注分の増加を主因に、1月は3か月連続で前年を上回った。

住宅着工戸数は、持家・分譲を中心に、1月は前年を上回った。